

昨年11月26日、一般社団法人沖縄県軍用地等地主会連合会（土地連）の又吉信一会長は沖縄県庁を訪れ、首里城再建支援に10万円、沖縄子どもの未来県民会議に10万円をそれぞれ寄付した。首里城再建支援金を



島津課長（左）と又吉会長



島袋統祐監（左）と又吉会長

「子どもたちに希望と夢を」
土地連が各団体に寄付金贈呈

受け取った土木建築部の島袋登仁雄建築都市統括監は、「大変心強く感謝している。次年度から関連事業を実施するので、立ち上がっていく様を見てもらいたい」とあいさつ。県民会議を担当する生活福祉部の島津典子子ども未来政策課課長は、「子どもの居場所づくりは深刻。今回の寄付は給付型奨学金として活用させていだけ」と謝意を述べた。又吉会長は「本会の公益活動の一環で贈らせていただいた。首里城は沖縄県民の財産であり、心の拠りどころでもあるので再建に役立ててもらいたい。また子どもの貧困問題が深刻化していく中で、沖縄の子どもたちが夢や希望を持って成長していけるよう支援していきたい」と支援理由を説明した。同会は首里城再建支援を昨年度より実施しており、今後毎年継続する方針。子どもの貧困支援も今年度から毎年実施予定だ。また、例年12月に行っている各団体への贈呈式は今年はず、三役が以下の寄付先を訪問して合計410万円の寄付を行った。沖縄県社会福祉協議会（50万円）、スペシャルオリンピックス日本・沖縄（30万円）、沖縄県国際交流人材育成財団（100万円）、沖縄県立看護大学（20万円）、沖縄被害者支援ゆいセンター（10万円）。また、本部町・宜野座村・うるま市・南城市・浦添市の各社会福祉協議会にはそれぞれ30万円、各育英会には10万円が贈られた。